

モバイルCAD教育実用化

キャリア技研

無線で3D設計可能

企業向けニーズも探る

三次元CAD設計のキャリア技研(本社名古屋市中村区亀島二ノ六〇一六・大升ビル内、富田茂社長、電話052・454・0495)は、CAD技術習得のためのモバイル教育を実用化した。無線ネットワークによる三次元の共同設計を通じて技術を学ぶ内容。交換する情報量の多いCAD教育は、有線による専用設備がなければ不可能とされていたが、同方式を採用すれば専用設備のない一般教室でも可能になる。学校のみならず企業内の技術者教育にも有効なことから、企業ニーズのリーサーチも開始した。



富田茂社長

同方式は、〇三年に岐阜県が主催した「無線LANを活用したユビキタス環境の実現に関する調査研究会」で実証実験を実施。これにより、インターネットを通じて情報

の共有ができる「トヨタケーラム(本社名古屋市)のCADシステム「ゲーラムセン」と無線LANによる環境下で三次元のCAD設計が可能なることを実証した。

この成果を教育現場で活用するため、昨年十一月に岐阜県から高校で初

のモバイル教育を行った。木工産業の盛んな地域であることから、機械、ペンチ、タンクカパーなどの木製品の製作をパソコン画面上で行うもの。二十三人の高校生が担当を決めて部品を作り、製品を完成。好評との評価を得た。

同社が自社の社員向けに開発したCAD教育

は、実践を主体とした短期集中が特色。このため、今年に入ってから岐阜県や雇用・能力開発機構愛知センターから職能訓練を受託している。同社では「高校生や職能訓練などの基礎教育のみならず、今後は一般企業を対象にしたさまざまなテクニカルレベルの社員教育も手がけていきたい」(富田社長としている)。



「モバイルCAD教室」を岐阜県神岡高校で初めて実用化